

■ 特集 I

知をみかく

畿央大学大学院生座談会

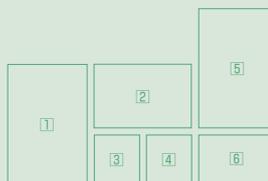
■ 特集 II

美をつくる

■ シリーズ VOICE

■ シリーズ 私の先生・私の教え子

■ 理事長エッセイ



畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科卒業制作より

① A-CUTE 自立する折りたたみ椅子
木田 昌樹 Masaki Kida

② The Lock Dance
松山 央樹 Hiroki Matsuyama

③ ロッソ肩を用いた編み機の製作
小山 善子 Yoshiko Koyama
谷口 友哉 Tomoya Taniguchi

④ 鹿糞紙による照明器具 KASUGA
谷岡 真千子 Machiko Tanioka

⑤ 衣装制作 KDKモードショウへの出展
安居院 拓也 Takuya Aguin

⑥ 病気が吹っ飛ば!? 笑顔になる空間
大橋 一真 Kazuma Ohashi

新たな学問領域「健康科学」を 畿央大学大学院から世界へ

畿央大学では2009年春、大学院博士後期課程を開設しました。「健康科学」という学問領域を確立し、人間の健康に関わる多様な問題を解決する高度な専門家の育成をめざします。修士課程で学ぶ院生、修士課程を終え博士後期課程に進んだ院生と教員が、大学院の魅力と展望を語り合いました。

座談会 参加者

金子 章道 教授 健康科学研究科長

生野 公貴さん 博士後期課程1年

信迫 悟志さん 博士後期課程1年

熊谷奈緒子さん 修士課程2年

今井 智恵さん 修士課程2年

森岡 周 教授 司会・研究科主任

森岡 まず本学の大学院を志望した動機と、実際に入学してみてどうかということについて聞かせてください。

生野 病院で理学療法士として勤務して6年目になります。主に脳卒中、中枢神経疾患の患者さんのリハビリテーションに携わっています。理学療法というのは、医療のなかでもエビデンス、検証に乏しい領域だという問題意識を持っており、2007年の畿央大学大学院開設と同時に修士課程に入学しました。

修士2年間を終えて、もっと理学療法



にいかせるような研究をしたいと考え、博士後期課程に進むことにしました。

自分の仮説や研究を先生方がしっかり受け止めて指導してくださいませし、設備、機器も充実していて、非常にいい環境だと感じています。

信迫 私も理学療法士9年目になり、脳血管障害や整形外科疾患の理学療法に携わっています。

現場で感じていたのは、脳血管障害で麻痺が残った患者さんを治すのは、非常に難しいという現実です。

そういったなかで、脳機能についてよく理解しなければ運動麻痺は治せないのではないかと考え、専門の先生方がおられる畿央大学の修士課程に入りました。

仕事をしながらの研究で2年間はあつという間に過ぎ、消化不良とか、まだまだ明らかになりたいことがあり、さらに研究を進めていきたいという気持ちで博士後期課程に進学しました。

森岡 博士後期課程は研究者の入り口に一步入り込んだところですね。そのあたりの心構えとしていかがですか。

金子 修士課程だけでは十分ではない、自分たちがやりたい研究に進んでいくのに2年では足りないというのは非常によくわかります。

修士に入ってから来た時点では、基本的に基礎的な学力が十分ではない。修士課程でしっかり基礎学力を付けた上で、研究に踏み込んでほしいと思います。そういう目的で本学においても博士後期課程をスタートさせました。

森岡 修士課程のお二人はどうですか。

熊谷 私は病院で作業療法士として、主に脳性まひや自閉症のお子さんのリハビリテーションに携わっています。今まで研究をしたことがなく、わからないことがあると参考書を開いて「あ、そ

うか」というように、受け身的な考え方でした。

職場の先輩が畿央大学の大学院生で、いろいろと話を聞くなかで、これからのリハビリに関わっていく上では、脳神経のことを勉強しないと苦しいのではと思うようになりました。

研究の手順や方法を考えるのも初めてなので、日々学ぶことがたくさんあります。

今井 私は管理栄養士養成の専門学校を卒業して、そのままこちらの大学院に入学しました。今はほぼ毎日大学で研究をしています。

専門学校では、資格を取るための暗記中心の勉強でした。自分でもっと考えながら学んでいきたいと思い、大学院への進学を希望しました。畿央大学を選んだのは、栄養学だけでなく、さまざまな専門領域から健康について考えられると思ったからです。

私はメタボリックシンドロームにとっても興味があり、それと食生活を結びつけて考えたいと、今はお米の研究をしています。食生活でお米は欠かせないものですが、そのなかで糖尿病の人たちにどうアプローチしていくのかということを考えたいと思っています。

森岡 短期大学や専門学校では、すでに結果が出ていることを教えられ、それが問われるのが国家試験であったりしま

す。

しかし、まだ解明されていないことが山のようにある。大学院等で研究しているって「わからないこと」を知り、「わかっていったつもり」だったことを知るのですね。

皆さん能動的に研究を進めていて、とても楽しそうな印象を受けます。

金子 これまでは教えを受けるという、どちらかという受け身的な立場だったと思いますが、大学院ではそれではない。先生から盗み取るくらいの積極的な態度で臨んでほしいし、実際に皆さんからそういう意欲を感じます。

またそうした本大学院の教育・研究に対する評価でしょう、今年には28名の方が畿央大学大学院の修士課程に、6名の方が博士後期課程に入学されました。

今井さんがおっしゃったように、色々な専門領域の人たちがいて、健康という一つの方向に向かって研究し協力しているということも魅力ですね。実は、文科省の実地調査の際に「健康科学という学問領域はあるんですか」と問われ、「ないかもしれないけどこれから本学で作ります」と答えました。自分の興味のある領域とその周りの学問領域をうまく吸収して、皆さんが「健康科学」という学問を作っていくってほしいと思います。

森岡 我々教員同士の専門をつないでいく



金子 章道 教授

場所に大学院生が入ってきてくれているとも言えますね。

皆さんは研究活動のなかでどういうところに喜びを感じますか？

生野

やればやるほど「こんなんではあかん」という点が見えてきて、準備する量や勉強する量が増え、ある仮説を証明できた時はやりがいを感じます。そして、それが理学療法の分野に貢献できたが一番いいかなと。それがやりがいになり、次の意欲につながると思います。

信迫

修士論文では、素朴な疑問から研究を始めたいんです。調べていくうちに、ある神経活動とのつながりがわかってきた。それを理学療法に応用することで、運動機能が良くなるのではないかと仮説を立てて介入研究をやってみたところ、患者さんがとても良くなられて、非常に喜んでくれました。それが一番嬉しかったことです。

熊谷

院生同士でディスカッションしたりアドバイスをもらったりします。自分の考えが深められたのと、人とのつながりが増えました。それが私にとってはずごくプラスになっています。

今井

今動物を使った実験をやっています。が、初めは触り方から教えてもらいながら試行錯誤していました。それが1年経ってしっかりとできるようになったことが嬉しいですね。



熊谷奈緒子 修士課程2年



森岡 周 教授

また、昨年は学部生と院生とで英語の論文を読むゼミを開き、いろんな考えの人とディスカッションすることができました。私は固定概念にとらわれやすいところがあったのですが、独自の考えが持てるようになり、すこく成長できたと感じます。

森岡

では、苦労していることはどんなことですか？ 仕事や家庭と二足、三足のわらじを履きながら研究をされている人もおられますけれど。

生野

仕事をしながらで、時間の制約というのが一番厳しいですね。ただ、働きながらだからこそ研究動機を見つけられるとも思っています。今大学にられる先生方も同じような道を歩んで来られたので、負けじと頑張っています。

信迫

私は修士課程の途中で子どもが生まれました。一番かわいい時期なのに、仕事が終わっても家に帰らず、大学で

夜遅くまで研究をするという生活でした。同僚や家族、友人、先生方などに支えられて、今から振り返ると苦労も喜びでした。

生野

研究の面では、今までは調査研究を中心にしていたのですが、今回から実際に患者さんの治療に介入する研究を始めました。自分の立てた仮説通りにうまくいかない部分もたくさん出て来て苦労しています。

熊谷

私は研究のデザイン、手順や方法を立てることに苦労します。一回やってみてだめだった、じゃあこう考えたらいいのかなという研究の組み立てが難しいですね。

今井

ちょっととした誤差や操作の誤りで全く違う結果が出て来た時はいきつまって、しかも何がいけなかったのかもわからなくて、「どうしよう」となってしまいます。

金子

どんな立派な研究者であっても、すべての仮説をそのまま証明できるなんてことはありません。やってみてうまくいかないことの方が多い。その時にここはこうひねってみようとか、こう見ているものを裏から見るとか、そういう発想の転換がすごく大切なんです。

だからディスカッションのなかで考え方に柔軟性が出て来たというのは、すごく大切な学問的成長です。これからの研究が期待できますね。



信迫 悟志 博士後期課程1年

森岡 僕らも普段、自分の仮説が証明できなくて、イライラすることがあります。それは実はとても幸せなことだと、今聞いていて思いました。

さて、本大学院教員には世界に発信しておられる研究者がたくさんおられますが、そういう研究者からどういことを学んで来ましたか？

生野 一番感じるのは、パワフルで熱意があつて、モチベーションがすごく高いということですね。だからこそ研究でいろいろあつてもまた次に進めるんですよ。僕も途中で行き詰まっても、先生方を見て、これくらいであきらめていてはだめだなと。逆に、その熱意があれば年月はかかってもステップアップしていけると思っています。

信迫 リハビリの世界というのは、右肩上がりですんでいくというわけではないので、ともしればマンネリになっていたらだと仕事をしようというものが業界にはあると思います。そういう中で毎日エネルギーを動かしていらっしゃる先生方を見て、自分もがんばらなければと感じます。

熊谷 国際レベルでいろんな論文を発表させていて、私も国内だけでなくて広い視野を持って研究をしていきたいと、モチベーションが高まりました。また、私が質問や相談をした時には、いつもポジティブな視点で返してくだ

さいます。「どうしよう」と思っている時こそポジティブに考えようという発想の持ち方は勉強になります。

今井 実験室で実験をしていると、いろんな先生が通るたびに「研究を楽しんでやっていますか」と声をかけてくださいます。大学院に入る前は、研究は難しいことというイメージがありました。が、今は研究は楽しんでやるものなんだと感じています。

金子 皆さんには僕らも元気をもらっていますよ。教育も、同じ事を繰り返したのではありません。学問は進んでいきます。もう決まっているのだから私は同じことを教えればいいと、そういうものではない。学問・真理には国境がなく、世界中どこから発信されてくるかわからない。それを知っていなければならぬ。だから先生方もがんばって勉強しています。

また、こちらから発信する時も世界

に向けて発信しないと、国内だけではだめですよ。『畿央大学』という名前だけでなく、最初は世界とは言いませんが、少なくとも日本の大学になろうと思っっています。

院生の皆さんにも、健康科学という学問は畿央大学が作るんだ、畿央大学の大学院が作るんだと、そしてそのリーダーになるんだというつもりでぜひ研究して勉強してほしいと期待していますし、それができるだろうと思っています。それが大学院を作った目的であり、そうなるってもらわないと困ると思っっています。

森岡 日本を背負うくらいの実力を皆さん持っていると思うので、大学にいる間にぜひたくさんチャレンジしてほしいと思います。

次に聞かせていただきたいのは、本大学院の特色についてです。例えばインターネットを利用した「授業配信システム」も、皆さんの仕事との両立をできるだけ支援したいということで始めたものですね。

信迫 僕は自宅と職場が大阪なので、インターネット授業がなかったら成り立たないくらい、大変ありがたいと思っっています。

熊谷 私は近いので直接大学のほうに来ることが多いですが、わかりにくいところ



今井 智恵 修士課程2年

るはインターネットで何回も見て復習
 ができるので、よかつたなと思います。
今井 私は今まで栄養のことはかりやっ
 きたのですが、理学療法や教育など他
 の専門領域の先生の講義を聞けること
 がとても面白いです。

森岡 では、こういう点をもっと充実させ
 てほしいという要望があれば、我々も
 フレキシブルに変えていきたいと思っ
 ていますので、忌憚のないご意見を
 言っていたければと思います。

生野 日本では理学療法の分野の介入研究
 がまだまだ少ないです。今直面してい
 る問題なのですが、臨床研究となると
 患者さんの治療に介入するわけです
 から、インフォームドコンセントの問題
 や、病院全体の倫理的な問題などが発
 生します。個人でできることには限界
 があるので、大学が病院との架け橋と
 なって調整をしてもらうことができれ
 ば、もっといいかなと思います。

信迫 修士2年間ずっと思っていたのは、
 仕事が終わってから研究を始めるの
 だいたい夜の8時から9時スタートにな
 るんですね。でも実験機材のある部屋
 が11時には閉まってしまつて。一日で
 ガツと集中してやりたいという気持ち
 がありますし、実験で新しい何かが発
 見できるかもしれないのに、時間を決
 められてそれまでに発見するのは難し



生野 公貴 博士後期課程1年

いですよね。際限なく研究できる時間
 と場所を与えていただければ非常にあ
 りがたいです。

熊谷 私も仕事が終わった後に来ると、図
 書館が閉まっていることがあります。
 もう少し長いこと開いていたら、調べ
 物もしやすいですね。

金子 研究に時間はないですから、大学と
 して考えないといけない問題ですね。
森岡 今年から大学院の同窓会を作りまし
 た。同窓会の方でも研修会や講師を招
 聘しての勉強会、あるいは研究発表会
 などをやっていききたいと思えますけ
 ども、同窓会の活動に期待することは
 どんなことですか？

生野 学部の同窓会を見ていて、多方面に
 ちらばった卒業生がまた集まつて、新
 鮮な意見や情報を交換する、そういう
 場があるのはいいなと思います。大学
 院の同窓会でもそういう活動ができた
 らいいなと。

信迫 例えば1年に1回は同窓会のなかで
 研究グループを作って、論文にするな
 り発表するなり、形あるものとして毎
 年残していくなど、そういうネット
 ワークづくりの活動を期待します。

森岡 最後に、皆さんがこれからの研究を
 通じて、自分の専門分野に発信してい
 きたいものとはどんなものでしょう
 か。

生野 今、脳卒中の患者さんが理学療法・

リハビリテーションをする上では、単
 位・時間がある程度決まっております、い
 かに効率良く治療効果を出していくか
 というのが課題になります。そのなか
 で、電気刺激を組み合わせた運動療法
 が注目されています。電気刺激が脳
 にどう作用を及ぼすのかがわかってき
 て、それを応用すると、患者さんの機
 能回復や運動の学習過程が早くなる
 ということが少しずつわかってきていま
 す。まだまだ理学療法への応用や実際
 の治療に活かされるのが少ないの
 で、そこを明らかにしたいと考えてい
 ます。

信迫 自らの活動領域だけでなく、学際的
 に、広い世界に自らの研究している理
 学療法とその効果について発信してい
 きたいです。患者さんの間に口コミで
 広がっていくけば最大の効果があると思
 います。また、修士課程の間に、海外
 の学会で発表する機会をいただきました
 た。これからもいろんな分野に壁を作
 らず、国際的にも発信していきたいよう
 になりたいと思っています。

熊谷 私が働いている子どもの分野での作
 業療法の研究というのはまだ少ないの
 で、疑問に思ったことをどんどん研究
 して発信していきたいと思っていま
 す。また、私のように初めて研究する
 後輩にも、研究の進め方などを指導し
 ていきたいです。

DATE

平成 20 年度

修士論文タイトル一覧

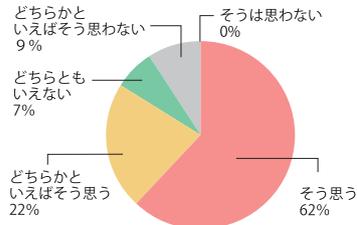


- 脳卒中患者におけるストライド時間変動と歩行自立度の関係
- 運動の認識における身体内部および外部への能動的注意が脳活動に及ぼす影響
- 脳卒中患者における麻痺側下肢支持性の新しい評価指標の有用性
- 身体位置関係の認識と立位姿勢バランス能力の関連性
- 道具の観察における上肢の位置が運動イメージに及ぼす影響
- 高齢者における固有感覚を基にした上肢の知覚学習に関する研究
- プリズム順応課題の脳活動と治療効果
- 立位姿勢制御に効果的に作用する足底の知覚学習に関する研究
- 視線方向認知の脳内機構とその課題の臨床効果に関する研究
- 動作観察時の作業療法士と作業療法学生の視点の相違
- 足底知覚学習課題が後期高齢者の立位姿勢バランスに及ぼす効果
- 運動イメージの鮮明化に影響する言語の分析
- 有機酸の単回投与がラットの運動後の血中乳酸濃度および関連血中成分に及ぼす影響
- 介護老人保健施設における認知症ケアの現状と今後の課題
- 開腹手術前後の咳嗽時最大呼気流速の変化と肺機能・創部痛との関連
- 自閉症スペクトラムにおける聴覚的リズムの視覚的情報処理とその特徴
- 学童期の米飯摂取を促す食教育が給食残量と食物繊維摂取量に及ぼす効果について

2008 年度

院生による 授業アンケート

授業は全体として
満足できるものだった



<コメントより一部抜粋>

- 幅広く、各専門分野からのモノの見方や考え方にふれることができ、大変有意義でした。
- 大変、詳しく丁寧な講義をいただき、苦手な分野でありましたが、興味をもって授業に参加することができました。
- スポーツと心理学という一見異なる分野を非常に分かりやすくまとめていただきました。授業資料についてはもう少し配布していただければ、もう少し知識を整理しやすくなるかと思いました。ありがとうございました。
- 実際の人間工学的データをたくさん示していただきながらの講義は、大変理解しやすく興味をもって受講することができました。
- 院生が発表する機会があり（自分自身も含めて）とても勉強になりました。単純に講義をきくだけよりは、自分自身も参加できた方が良く感じています。
- 研究に関しての進め方や考え方を、先生とゼミ生でディスカッションしながら進めていく形でしたので、非常にわかりやすくご指導いただきました。



今井

私は今糖尿病の方むけのお米について研究していますが、今は農水省のなかだけでやられていて、病院などではそれが実証されていない。実際の糖尿病の患者さんに効果があるのかということの研究してみたいと思っています。就職はこれからです、病院で働きたいと思ってるので就職してからも研究を続けていきたいと思っています。

金子

自分の専門領域のエキスパートとしての腕をみがき、そのなかのリーダーになるのは当然のことなんでしょうけども、それと同時に広く人間としても大きくなくていくことも非常に大事なことでだと思います。

みなさんにはぜひ健康科学という学問領域を確立していく力になってほしいと思うし、畿央大学を世界に向けて

森岡

発信する力になってほしいと思います。

また、今の大学院にいるうちから、例えば現場の病院で、大学で、後輩たちの指導を試みてほしいですね。

大学院を開設する時には教職員一同迷いもありましたが、皆さんの意見を聞くと、開設してよかったと改めて思います。ここで意見をもらったことに関して是可以だけ変えていけるよう検討したいと思います。みなさんからどんどん発信してください。

非常に希望に満ちあふれて研究活動をしておられることは私たちにとっても喜びです。今日の話を聞いて我々自身も教育研究活動にさらに邁進していきます。

今日はありがとうございました。

冬木学園を支えてくださるみなさんからのメッセージをご紹介します。



コツコツ頑張ること

内藤 真子 さん

関西大学文学部
関西中央高校(2009年卒業)



「smile」を忘れずに

唄 大輔 さん

医療法人 平成記念病院勤務
畿央大学健康科学部理学療法学科
2008年卒業

「先輩!!」と呼ばれることにおもはゆさを覚えながら、自分が社会人2年目になったんだな、と感じています。早いもので、畿央大学を卒業して1年が経ちました。畿央大学での大学生活は、とても充実したものでした。日々の授業はもちろんのこと、サークル活動、オープンキャンパスのスタッフ、大学祭の実行委員、そして畿友会の役員といった様々な活動に関わりました。また、畿央大学ではたくさんの出会いがありました。同じ理学療法学科の先輩・後輩、他の学部・学科の方とも知り合うことができ、そのおかげで、たくさんの思い出ができました。畿央大学は、アットホームな雰囲気の良い大学です。現在、平成記念病院で理学療法士として毎日患者様の治療を行っています。1日のスケジュールは、午前中に外来の患者様、午後から入院の患者様を治療しています。一人の患者様について、しっかりと向き合い、評価し、より良い治療が行えるように、日々悪戦苦闘しています。畿央大学のキャンパスにもありますが、「smile」を忘れず、楽しくリハビリを行っていきたいと思います。

私は現在関西大学の文学部初等教育学専修に所属しています。関西大学に入学することができ、夢である小学校教師への一歩が踏み出せ、友達も増え、今はここが運命の大学だったんだと信じています。

また受験勉強の傍ら琉球國祭り太鼓に所属し、勉強との両立は大変だったのですが、それがあつたから乗り越えれたと思います。

先輩の皆さん、確かにやりたいことを我慢するのは大事だけど、我慢し過ぎるとかえって結果に繋がらないこともあります。就職にしろ進学にしろ、必ずそのために勉強しなければいけないしとても大変で精神的にまいると思います。

そんなときに息抜きの出来る何かを見つけておいたら気持ちが高くなって結果がよくなるということもあると思います。でも、すぐに結果が出るとは思わないでください。いつも先生方から聞いているかもしれませんが、コツコツ頑張って毎日の継続で結果に繋がります。そのことを忘れないでください。どんなに天才でも、コツコツ頑張った人には負けます。頭の片隅にでもこのことを置いておいて下さい。

これからの高校生活を有意義に過ごして下さい。

ともに メイドインジャパンを 盛り上げて

岡本株式会社
R&D部チーフマネジャー
丸山 洋二さん



靴下というのは、1589年に初めて編み機が開発された産業ですが、まだ評価手法や計測手法が十分確立していません。しかし今やお客様も科学的知識が豊富になり、当社の取り組んでいる機能性靴下の開発でも、機能をデータで示すことが不可欠になってきています。

当社ではこの春「速く走りた
い子どものための靴下」を発売
しました。通常の靴下に比べ踏
切エネルギー効率率が5%アッ
プするといふもので、貴大学には
計測方法の立案と計測で協力し
ていただきました。また、つま
ずきやすい高齢者をサポートす
る靴下についても共同研究を進

めています。テーピングの理論を靴下に応用できないかと、先生方によるテーピング講習会も開催しました。

畿央大学は地理的にも近く、フットワーク軽く連携できることが魅力です。また開学したばかりで熱意にあふれていると感じます。今後も連携し、奈良からメイドインジャパンを盛り上げていきたいと思えます。

知りたい情報を何でもすぐに得られる時代ですが、畿央大学の学生さんには、真理を深く追究し学ばれることを期待しています。



付属幼稚園しかない!



東 千英 さん

畿央大学付属幼稚園
年長さくら組・宗志郎のお母さん

去年の夏、6年ぶりに鹿児島より懐かしい奈良へと帰って参りました。上の子どもが、2年間付属幼稚園でお世話になり、大好きな幼稚園でした。のびのびと、そしてあたたかい雰囲気子どもに安心感を与え、楽しく過ごすことができたと思います。

上の子の入園前、園庭開放に参加したことが懐かしいです。当時、うちの子は、裸足でかけ回る元気いっぱいの子でした。他の園では、「足をケガしてはいけないから」と言われ、無理やり靴をはかせていたのですが、付属幼稚園の先生方は、何もおっしゃらずに、タライにぬるま湯をはって足ふきタオルを持ってきて下さいました。これには親子ともども感激で、「付属幼稚園しかない!」と決めました。

帰奈してすぐに、下の子どもと共に園に参りました。すると息子は一目見て、「ぼく、ここがいい!」と言ったのです。転園後、スムーズにお友だちをつくることができましたのも、担任の先生や園の先生方のお力添えがあったからだ、感謝しております。

私の先生

私の教え子

冬木学園では、豊かな知識や優れた技術を教えるだけではなく、心を通わせ、人としての生き方を伝えていく教育をめざしています。冬木学園各校で学んだ、学んでいる教え子と教員との交換メッセージをご紹介します。

冬木智子先生 「学校法人冬木学園理事長・畿央大学学長」



奈良県立桜井高等学校校長先生70出会う
のちに冬木文化服装学院に三年間勤務

今もなお心のささえに
杉本蓉子さん

さをしみじみと噛みしめているこの頃でございます。

お優しいけれど、キリッとしたものをお持ちの冬木先生は、本当に骨身を削って御学園の礎をお作りになりました。お傍に一緒にさせて頂くだけでも頭の下がる思いで一杯でございます。

私は家庭の主婦としての道を選びましたが、絶えず冬木先生からのご指導と温かい太陽のような支えを頂いて今日に至りました。本当に感謝の気持ちで一杯でございます。どうぞお体を充分おいと下さいませようお祈りしております。

Comment

この様な人との出会いを「切っても切れぬ絆」と言うのでしょうか。

杉本蓉子さんは、私が母校で始めて教師となり教えた時の在校生であり、冬木学園を開校した時の最初の教師となった方であります。

師弟の愛の尊さでも云えるのでしょうか。いつ迄もこの美しい縁を宝として、胸に抱きつづけたく思っています。折にふれ蓉子さんの優しい声が、私に変わらぬ明日への生きる喜びを与えて下さることを切に願っております。



三井田康記 先生 「畿央大学健康科学学部人間環境デザイン学科 学科長」



株式会社中尾組勤務 2007年畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科卒業

人生の先輩として

辰巳 和洋さん

先生との思い出は、ゼミでの活動が印象に残っています。町家の測量をしたり、色々な方に協力して頂き活動していました。夏には先生も汗だくになって一緒に測量した事を覚えています。また地域の散策や発表会、時にはバーベキュー等、先生は自ら計画して下さい、また指導して下さいました。

卒業後も仕事の相談に乗って頂き、また来いと優しい言葉を掛けて下さいました。特に転職の事で悩んでいる私に人生の先輩

として「人は前を向いて歩いているようで、実は後ろを向いて歩いている。だから先を歩いている僕には、君が進もうとしている道が良い方向に向いているのか、向いていないのかが見える。だから先生の話を参考にししては？」と言つて下さり、空が急に晴れた様に気持ちがあすつきりし、整理することが出来ました。

そして現在はおかけ様で、ゼミの時からお世話になっていた方の会社で働かせて頂いています。当時は想像もしていなかったですが、懐かしさや学生時代以上のやりがいを感じ日々頑張っています。先生！これからもよろしくお願いたします。

Comment

元気を取り戻した君の笑顔を見て、私もうれしいです。

周りの人は君が何でも器用にこなすと思っているようですが、実はまじめに努力していることを私は知っています。だからこそ、転職する時、君が迷い、深く悩んでいたことは痛ほどよくわかりました。直面する試練から目をそむけず、自分の夢に向かって進んでください。迷った時は、いつでも訪ねてきてください。がんばれ、辰巳君。



松田全史 先生 「関西中央高校 数学科担当・野球部監督」



人として大きく
平田 大介 さん

大阪芸術大学文学部
2008年関西中央高校卒業

松田全史先生との出逢いは、今の自分に大きく影響していると考えています。松田先生は、関西中央高校野球部の指導者である一方、数学の教師でもあります。私の中には、常に二人の松田先生がいました。グラウンドに一步踏み入れている先生の声「グラウンドに入ったら気持ちを野球に切り替えろ」。松田先生は、一線を画すことで指導者と選手の間を作っていたのだと思います。

松田先生が野球部員として最後の日の私

たちに言った言葉があります。「野球選手は言わば花、花が散った後の茎や根の状態です。今、私は大学でアメリカンフットボールの世界に挑戦しています。舞台は変わっても松田先生が言って下さったことが変わることはありません。松田先生の教えを胸に、また立派な「花」を咲かせるように自らの根を太くしていきたいと思っています。

人として大きくなった高校三年間、それも松田先生との出逢いのおかげです。出逢いは、ほんとうに人の人生を変えてしまうと思います。この偶然の出逢いを大切に日々精進するつもりです。

Comment

平田君が2年生の時、夏の大会を前にチームで一番心の強い平田君を捕手に抜擢しました。奈良高校との1回戦、9回裏同点二死満塁の場面、彼の見事なヒットで初勝利を上げることができました。しかし、彼が主将となった最後の大会は、残念ながら控えに回ることに、本人は非常に悔しかったと思いますが、チームのためベンチで応援する平田君の姿には、いつも頭の下がる思いがありました。我々教員こそ多くの生徒との出会いで、自分を大きくさせてもらっていると感じます。平田君のこれからの活躍を祈るばかりです。



駒井美智代 先生 「畿央大学付属幼稚園 教諭」



なつかしい出会い

瀬野 勇樹 さん
保護者 瀬野 千秋 さん

畿央大学付属幼稚園1999年卒園

人生の中で出会い、縁というのは不思議なものをつくづく思います。今から14年前、当時の桜井女子短期大学付属幼稚園へ入園して駒井先生と出会い、卒園までの3年間、担任をしていただきました。駒井先生はいつもやさしく思いやりがあり、子どもが大好きな先生でした。

卒園9年後、子どもが同じ冬木学園の関

西中央高等学校に入学して野球部に入部しました。駒井先生のお子さんと同じく野球部で、保護者同士として先生と再会、わが子も先生のお子さんの後輩としてお世話になりました。

子どもにとって駒井先生は幼稚園の担任の先生であり、先輩のお母さんでもあり、少し複雑な心境だったようですが、先生に声を掛けてもらい安心したようです。高校生になっても温かく見守ってください。先生に感謝し、うれしく思っています。これからもこの関係が続きますことを願っています。

Comment

14年前、付属幼稚園に入園された瀬野君は、可愛い目を大きくして、いつも真剣な表情で話を聞いていた姿が、今も懐かし思い出されます。その後、関西中央高等学校に入学、そして野球部に入部され、思っていたとおり、素直で最後までやり抜く意志の強い人に成長されたこと誇りに思っています。お母さんも父母の会役員として、付属幼稚園の充実発展につくしていただきました。これからも自分の力を出しきって、応援して下さる方々に感動を与えられる人となられるよう願っています。



建学の精神「美をつくる」に込めたもの

学校法人冬木学園 理事長 冬木 智子

学園で出会った人たち、学生、生徒、園児、そして教職員が、その出会いの尊さをのちの長い人生の中で感じていただけるような教育の場を創りたいと思っています。

こうした思いで、いよいよ学園を創立するとうとき、よりどころとなる建学の精神を打ち立てねばと思いました。それは、ゆるぎないもの、人として生まれてきて、国を問わず、性別年齢を問わず、共通にそれを基本にして間違いないと思える言葉にしなければと考えました。そうして、生まれたのが「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」という言葉です。

「美」というものは、人々の多様な憧れの象徴だと思えます。美しいものには、どんな人でも憧れを抱きます。それは、見た目の美しさ、耳から入ってくる音の美しさ、そして、そこはかとなく香ってくるにおい、食欲をそそる味覚、あるいは、肌触りという触覚、この五感で感じる感覚に感動すること、それが、人間の「美」に対する憧れのもとではないかと思えます。

美しいところに行ってみたいとか、絵に描いてみたいとか、形あるものを作ってみたいとか、それぞれの人の個性によって違うのでしょうか、人は、「美」に対して覚えた感動を表現し、創りたいと願わずにはおれないと思うのです。それで「つくる」という言葉を動詞として付けているのです。

学園を始めたときは、私も洋裁、和裁、料理をはじめ家政全般を教えていたのですが、たとえばブラウスひとつをつくるときにもやはりバランスが良く、美しくなかったら、着る人にふさわしくなかったりするのです。生徒に技術を教えながら、根本は着る人の心にいかに思いを寄せることができるかということをお教えることを、いつも意識していました。

料理にしても栄養があれば、どんな形でもいということではありません。盛り付けの美しさがあつてこそ食欲が出るものです。また、どんなお年寄りでも自分の姿かたちを気にしておられると思うのです。それを、「病人だから」ということで身なりを整えることに注意を払わないのでは、医療人として片手落ちのように思います。

虫の動きを見て喜ぶ子どももいるでしょうし、



そこにきれいな色を感じる子どももいるでしょう。それを絵に描くことを教えるといつても、無理強いるのでなく、子どもの感覚や感性がそこにどのように現れてくるかを見守ることのできる広い心が必要だと思います。

ひとの悩みや痛みを思いやる心を持つことが「徳をのぼす」ということです。なぜ、という問いかけを繰り返して研究する探究心が「知をみがく」ということです。そして、私は「美をつくる」ということがもつとも大切だと思っています。心の美、形の美、すべて美に到着できるように人づくりをしたい、そのことに私の力を尽くしたいと思っています。

「美」を創造することを通じて楽しく潤いのあふる人生を送り、人の世を幸せなものにしていくということが、とても大切なことだと思っています。



「徳」と「美」の融合こそ、ユニバーサルデザイン

畿央大学健康科学部 人間環境デザイン学科 准教授 中山 順

美 といえは、すぐに連想されるのが「芸術」です。しかし「美≡芸術」かと言うと、そうではないと思います。

芸術というのは、特定の人が気に入ればいい。極端に言えば、10人のうち1人でも気に入れば成立するわけです。しかし「美」とは、もつと意味が広いと思います。私の専門分野であるユニバーサルデザインの観点から考えてみたいと思います。

ユニバーサルデザインは、畿央大学のもう一つの建学の精神「徳」とも深く関わっています。

ある人のことを「人徳がある」と言った時、その人が卓越したものを持っている、存在感が非常にある、つまりステータス性があると言えます。しかしそれだけではありません。非常に優れた人でも、近づきたい人のことを「人徳がある」とは言いません。ここにもう一つ、親和性、親しみやすさという側面があります。ステータス性と親和性、この2つを兼ね備えた人が、「徳がある」と言えるのだと思います。

ユニバーサルデザインは、言わば「物」が「徳」を持っているということです。「物徳」という言葉はありませんが、物自体がステータス性と親和性を持っている。これが「物徳」ではないかと考えています。

ユニバーサルデザインとよく似た観念としてバリアフリーがあります。バリアフリーというのは、親和性を重んじる傾向があります。例えば障害のある人のための特別な配慮。特別な人のための特別な配慮だから、目立ち、悪く言えば見てくれが悪い。バリアフリーはそれでもないのです。

しかし多くの人がいっしょに住んでいる社会ですから、障害のある人だけが特別というのではなく、誰にとっても快適に暮らせる社会でなければならぬと思います。例えば高齢者は親和欲が強い一方で、高級感などステータス性も求めている。使いやすいだけではだめで、それを実現するのがユニバーサルデザインなのです。

配慮を特別な配慮と受け取らせず、誰にとつてもかっこよく、違和感がない。それが「美しい」



ということです。すなわち、「徳」と「美」を合わせて初めて、ユニバーサルデザインになると私は考えます。建学の精神の残る一つ「知」というのはそういうことも含めて考え、ものづくりができる技術を指します。こうして見ると、建学の精神というのはとてもバランスのいいことを言っているのです。

学生たちにもそういう視点で考えるよう指導しています。卒業制作等では、ある程度のレベルには達してきていると感じます。自分が設計したものを、健常者だけでなく、そうではない人がどう感じるのか、想像力を働かせ、そうした感性とものづくりの技術を身につけて社会で活躍してほしいと思います。



舞台における「美」の創出

関西中央高校 表現情報コース 演劇担当 田所草子

今 春から、関西中央高校、表現情報コースで演劇を担当する事になりました。田所草子と申します。はじめて表現情報コースでの講師依頼を頂いたとき、学園の建学の精神が「徳をのぼす、知をみかく、美をつくる」であり、できれば授業の中で「美をつくる」を体感させて頂きたいと言われました。

たいへん重い課題であり、果たして可能だろうかとも考えましたが、とても大切な事であり、未来を担う生徒たちのお役に立てればと思ってお受けしました。ただ、私の表現に対する考えだけは、生徒たちに伝えたいとお願いました。

表現とは、ただ一方的に発するものではありません。「舞台」と言う表現方法に関しては、「まずスタッフと役者が力をあわせた第一舞台があり、次に観客席である第二舞台があり、そして、第一舞台と第二舞台が共有する幻の舞台がある。それが第三舞台です」。これは、「第三舞台」主宰の鴻上尚史が自身の劇団名の由来を語った言葉ですが、そこには、演劇の本質が顕われています。即ち、それは、舞台上と客席には双方方向のコミュニケーションが存在するという事です。観客は、実は、重要なものを役者に投げ返しているのです。それは、観客の生の反応です。笑いであったり、涙であったり、賞賛であったり、時には、ため息であったり、落胆、嘲笑……。それを役者は舞台上で受け止め、己の演技をさらにより良きものへと変化させていきます。その双方方向の高め合いが舞台表現の醍醐味であると私は考えています。「舞台と客席が一体になる」……それは、舞台における「美」の創出の瞬間です。

表現は、決して、自分たちの発するものだけで完成するものではありません。そこに、その表現を受け止めてくれる他者がいることにより成り立ちます。自分ではない他者と、どのような、そして、どれくらい多様なコミュニケーションを育んでいけるのか、また、それを獲得する重要性を生徒たちには学んで貰いたいと考えています。

そこでまず、シラバスを考え年間スケジュールを立てることにしました。

まず、前期は、舞台表現の基礎となる身体、声の訓練をベースとしながら、表現の基礎となる双方方向のコミュニケーション実践を行い、自らの考えを表現し、また、他人の考えを汲み取る

能力を高める授業を行います。そして、後期には、現役の戯曲家に書き下ろしてもらった脚本を元に、舞台作品を創出します。最終的には、保護者のみならず、および一般の観客の前での発表を目標としています。

演劇とは、決して一人では創造できない表現です。一緒に舞台上にのる共演者が居て、また、それを明かりや音で彩るスタッフが居て、そして、それを見届ける観客が必要です。そういった他者の介在する演劇の表現環境の中で、己を表現する力と、他者とコミュニケーションする能力を身につけてもらい、演劇を通じ、学園の目標である「美」をつくり、学校教育目標の「自立と社会貢献のできる生徒の育成」を達成していきたくと願っています。



美しいものにふれて育つ

畿央大学付属幼稚園 教諭 川口忠輝

幼 稚園の子どもたちの成長には目を見張るものがあります。「美をつくる」という建学の精神の言葉から、私が感じるのは、子どもたちが育っていくことが美しいことなのではないでしょうか。子どもたちは、日々の様々な体験を通して人としての自分をより上げていっています。それは、自分をより美しいものへと創り上げているかのようです。

私は、園で年少の3歳児を担当しています。秋の造形展に向けて何を作ろうかと話しあってみると、少し前に行った収穫祭で大きなお芋が採れたことが印象深かったのか、「お芋を作ろう」ということになりました。そして、一生懸命新聞紙をいっぱい丸めて色を塗って、一人ひとりが、自分が採ったお芋を作りました。その様子を見て、3歳児にも感じたこと、うれしかったことをこんなに力強く表現しようという意欲があるのだと感動しました。

お絵かきは、幼児の重要な表現の取り組みですが、一歩引いて子供の感じのままに描かせることを大切にしています。そうして、子供たちの絵の変化を見ているとその成長の様子がよく感じられます。最初は、画用紙の隅っこに小さな絵しか描かなかった子が、やがて画面いっぱいのびのびと描くようになります。自分の顔しか描かなかった子がお友だちの顔やお父さんお母さん、先生の絵を描いてくれるようになり、そこに絵本のように「お話」が生まれてきます。また、グレー調の絵しか描かなかった子が、様々な色を使って、遠足でふれた動物やお散歩のときに見た花の様子など感じたことを表現するようになってくれます。

また、畿央大学の学生さんとのふれあひも、非常に大切な時間になっています。実習にやってくる大きなお兄さんやお姉さんは、園児にとって日常にない様々な「大人」との出会い、コミュニケーションの機会となっています。一週間の実習のまとめとして実習生がしてくれる、お話や絵本読み、手遊びなどは、毎週金曜日の園児の楽しみ方の時間となっています。大学の美術、音楽などの専門の先生の支援と合わせて、学園としてのこうした環境を持っていることは、大変心強いし、他の



園にはない子どもたちの発達の機会となっていると思います。今後は、関西中央高校に教育クラスが誕生したこともあり、高校生との交流の機会なども増やせていけたらと感じています。

3月のある日、ある年少さんが散歩の途中でお花を見て「美しい！」を叫んだときには驚きました。年少さんでも、もうそんな言葉を知っている、感動した時に自然と出てくるんですね。そんな、美しいものに触れる中で、子供たちが大きく、確かに成長していることを感じる事ができることに幼稚園教諭としての喜びを感じて、自分自身もいつそう成長していきたいと思っています。



畿央大学地域コミュニティ・スペース

「مامポコ・キッズ」と「ママポコ・親子ひろば」が誕生

畿央大学では、今年度から、地域の子どもたちが安心して遊べる場を作り、教育学部の学生を中心に企画や運営を行っています。

「ママポコ・キッズ」は、大学近隣の小学生を招き、毎月第2、第4日曜の午後1時から3時まで活動しています。100人以上の申込みがあり、抽選で40名の小学生が参加しています。外で体を思いきり動かせる遊び、造形遊び、ことば遊び、伝承遊びなど、たくさん種類の遊びを行っています。地域の方々にも協力をしていただき、昔の遊びも楽しんでいます。子どもたちが「ママポコって家族みたい」と言ってくれたといううれしい声も伝わってきています。

「ママポコ・親子ひろば」は、大学近隣の未就園児と保護者の方を大学に招き、みんなで楽しく遊んだり、話しあったりする活動を行っています。親同士の育児相談や親子でふれ合える場を作ることで親の子育てネットワーク作り、地域での子育てを支援しようという取り組みです。学生による手袋シアターや絵本の読み聞かせ、みんなで歌って踊るダンスなどを楽しんでいます。保護者の方には、大学の教員による専門的な子育て相談も行っています。

いずれの活動も、学生にとっては、将来就職に就く上で、子どもとかかわる力を身に付け、地域や家庭と学校との関係を学ぶ活動になっています。

広陵町老人福祉センター

地域高齢者の健康づくりと

栄養士養成教育の双方方向の取り組み

栄養士をめざす学生と地域住民との交流をとおして、畿央大学の持つスキルを提供すると共に、地域住民による学生教育をねらいとした双方方向の実践教育を実施しています。一年を通して健康づくり支援ができるように授業カリキュラムを組み、定期的に地域の高齢者にふれあう機会を頂いています。これは学生にとつては栄養指導のためのコミュニケーションスキルの実践的学習の場となっています。

健康づくり支援として骨密度、体脂肪率、腹囲等の健康チェックを行い、食事調査や生活習慣を聴き取り、結果を総合的に分析して返却します。またミニ健康講座を開催して、大

学で学んだことを発表し、高齢者の方によくわかると評価をいただいています。

学生たちは高齢者の方とのコミュニケーションをとおして、自分に足りないものを発見できたり、多くのことを学ばせていただいたとの感想を寄せています。また、皆さんが温かく迎えてくれて、とても嬉しかったし、今回の経験を「いい経験でした」で終わらせるのではなく、今後の実習や授業などに生かせるようにしたいと話しています。

栄養士としての意識の向上に地域の方々のふれあいが大きく影響していることがうかがえる取り組みとなっています。



冬木学園の社会貢献事業

第1回やまとフォーラム —教育・文化・健康—を開催

冬木学園の社会貢献活動の一環として学園と地域で活躍されている方々のコラボレーションで、豊かな内容を持った公開講座を提供することになりました。畿央大学を会場に冬木学園が地域の方々や学園の卒業生をはじめ、広く地域の文化の交流の要となり、その発展に貢献することをめざすものです。このフォーラムでは、畿央大学をはじめ冬

木学園各校の教員とともに地域の実社会で活躍されている方たちを講師に招いて20余の講座を開講いたします。全体会のトークショーを含めてお一人3講座にご参加いただけます。もちろん参加費は、無料です。このカトレア通信をお送りしている保護者、卒業生のみなさんをはじめ、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

日時 ▶ 平成21年8月30日(日) 12:30受付 13:00開会

会場 ▶ 畿央大学

プログラム: 全体会 13:20~14:20

1時限目 14:40~15:30

2時限目 15:50~16:40 *1時間目と2時間目に各10講座(予定)が開催されます。

内容

<全体会> 写真家 古谷千佳子(ふるやちかこ)氏と
畿央大学健康科学部 森岡周(もりおかしゅう)教授によるトーク

テーマ「育む」

沖縄の自然の魅力に惹かれて移住し「海人(うみんちゅ)」を追い続ける情熱の写真家である古谷さんに、「沖縄に残っているもの(自然・人)」「本土では失われたもの」は何かを語っていただきます。バックボーンとなるテーマは「育む」。「親子」「兄弟姉妹」「地域」の関係を通して、我々が後世によりよき「土壌」残していくためには、「感動」する心を持ちつつ「愛情」を注ぐ純な生き方、世界観が必要ではないか、という問いかけをトークと写真映像で表現していただきます。

<講座テーマ(予定)>

持久力を高めるには? —身体の中の酸素の役割
邪馬台国時代の大和 サヌカイトを携えて旅をした石器時代の“やまとびと”
おくりびと・おくれびと 一望む最期の過ごし方
ふれあいから学ぶ 一人とのふれあいにより育つ力
健康スイーツの開発プロジェクト 大豆と葛からパウンドケーキをつくる!?
食べ物の好き嫌いと食育 一好き嫌いや偏食のない子に育てるには?
まちづくりのすすめ 一ゼミによる大学と地域との協働の試み
卒研が紡ぐ地域と学生の「輪」—学生の発想はおもしろい「広陵町の靴下屑・山添村の蚕」
「同じ」って!?
絵からみえる子どもの心は、感動がいっぱい!
—乳幼児期の表現と、大人の価値観の「ずれ」について
今日からすぐできるラクラク禁煙法 一さよならタバコ、こんにちはは新しい自分
など、20講座を準備中!

主催: 学校法人冬木学園

共催: 畿央大学、関西中央高等学校、畿央大学附属幼稚園

やまとフォーラムの
お申し込み・お問合わせ

畿央大学 企画部
TEL 0745-54-1601 FAX 0745-54-1600
E-mail: kikaku@kio.ac.jp

畿央大学

関西中央
高等学校

畿央大学
付属幼稚園

12月

- 6日(土) 第7回畿央大学公開講座
- 7日(日) プレ・エントランスセミナー
- 7日(日) ナー
- 14日(日) パッククッキング講習会
- 20日(土) 冬の学習キャンプ
- 21日(日) ナー



公開講座

- 6日(土) 入試説明会
- 12日(金) 3年母校訪問
- 22日(月) 全校集会、授業終了
- 23日(火祝) 入試対策説明会
- 24日(水) 入試対策説明会



i-seek 授業竹炭作り

- 4日(木) 交通安全人形劇
- 9日(火) おもちつき大会
- 12日(金) マラソン大会
- 16日(火) クリスマス会
- 22日(月) 2学期終業式



おもちつき

1月

- 17日(土) 大学入試センター試験
- 18日(日) ナー
- 24日(土) 一般入試前期日程
- 25日(日) ナー



一般入試前期

- 7日(水) 全校集会、授業再開
- 28日(水) 2年進路ガイダンス
- 1年キャリア講座



進路ガイダンス

- 8日(木) 3学期始業式
- 14日(水) 入園説明会



お作法

2月

- 7日(土) プレ・エントランスセミナー
- 9日(月) (中国)九江学院大学から来学
- 16日(月)～20日(金) 子育て支援講座
- 28日(土) 公開講座「肩関節の理学療法基礎から臨床まで」



- 12日(木) 3年ビジネスマナー表彰、送別式
- 28日(土) ナー



送別式

- 2日(月) お作法参観
- 3日(火) 豆まき
- 5日(木) お別れ参観(年長児)
- 6日(金) 保育参観(年少児・年中児)



豆まき

3月



子育て支援講座



中国から来校

17日(火) 学校インターンシップ報告会
19日(木) 卒業式・卒業パーティー
29日(日) オープンキャンパス
30日(月) 新入生プレイスメントテスト・キャンパス歓迎会



卒業式

4月

3日(金) 入学式
5日(日) 新入生宿泊研修
6日(月) 平城高校との高大連携定締結
21日(火) ボランティア入門ガイダンス
25日(土)



入学式

1日(日) 第43回卒業証書授与式
19日(木) 終業式



卒業式

8日(水) 始業式
9日(木) 第46回入学式
11日(土) 生徒会新入生歓迎会
13日(月) 授業開始
17日(金) 2、3年校外学習
17日(金) 1年フレッシュマントレーニングキャンプ
18日(土) 生徒会専門委員会
22日(水)



フレッシュマントレーニングキャンプ

5月

10日(日) オープンキャンパス
23日(土) 織友会球技大会



球技大会



オープンキャンパス

1日(金) 生徒会部活動激励会、新体力テスト
12日(火) 救命救急講習
13日(水) 卒業生を迎えて



卒業生を迎えて

7日(土) 生活発表会
10日(火) バイキング給食
18日(水) 第30回卒園式
24日(火) 3学期終業式



生活発表会

8日(水) 1学期始業式
10日(金) 第31回入園式
20日(月) 保育参観
22日(水) 新入園児歓迎会
27日(月) 防火映画(年長児・年中児)



新入園児歓迎会

8日(金) 保育参観
22日(金) 春の遠足(檀原市昆虫館)
26日(火) オープンガーデン(園庭開放)



春の遠足

● 関西中央高等学校入試概要

課 程	全日制(普通科)(共学)	
募 集 人 員	畿央大学コース————(推薦)(一般専願・一般併願) 教育クラス・看護クラス	募集人員60名
	特別進学コース————(推薦)(一般専願・一般併願) Sクラス・Aクラス	
募 集 人 員	表現・情報コース————(推薦)(一般専願・一般併願)	募集人員140名
	スタンダードコース————(推薦)(一般専願・一般併願)	
	アスリートコース————(推薦)(一般専願)	
	*アスリートコースは野球・剣道・ソフトテニスに限定します	
ファミリー入試制度	本学園の卒業生・在学生のご家族の方(本人含む)は、受験料・入学金を免除	
特 典	畿央大学コースには畿央大学教育学部と健康科学部看護医療学科への高大連携特別推薦制度があります。 その他のコースにも畿央大学内部推薦制度や、他大学・短期大学・専門学校への指定校推薦制度があります。	

関西中央高等学校

2010年4月から従来の「特別進学コース」がクラスを分けて国公立をめざす五教科入試対応のSクラスと三教科入試対応のAクラスが発足。今年からはじまった注目の「畿央大学コース」教育クラスと看護クラスによる、高校3年間のコース在籍と必要単位修得で、畿央大学教育学部現代教育学科および健康科学部看護医療学科に進学できるという7年一貫教育も順調にスタートしました。また同じく出発した「表現・情報コース」では、コミュニケーション能力を高めることを目的としたプロの演出家による『演劇表現』の授業に保護者の方から期待が寄せられています。関西中央高校では、実績のあるアスリートコース、きめ細かな指導で一人ひとりの能力を引き出すスタンダードコースも合わせて、今の時代に求められる高校教育に全力で取り組んでいます。

「徳をのぼす・知をみがく・美をつくる」の建学の精神のもと、好奇心、探究心、創造性を持った自立と社会に貢献できる人材をしっかりと育成してまいります。

● 畿央大学付属幼稚園募集要項

募集人員	3年保育(3歳児)60名 2年保育(4歳児)若干名 1年保育(5歳児)若干名	受付期日	平成21年7月1日 午前8時30分より受付
		出願方法	所定の入園願書に選考料3,000円を添えて提出してください。
		入園許可	面接の上、入園許可を通知します。なお、面接の日時は願書受付後通知します。

園庭開放

6月3日(水)	幼稚園のみんなと一緒に遊びましょう。・入園説明会
6月24日(水)	音楽の先生と楽器を使ったりしながらリズム遊びをしましょう。
7月1日(水)	笹飾りを作りましょう。・願書受付開始
7月16日(木)	プールで水遊びをしましょう。
8月6日(木)	体育の先生と水遊びをしよう。
8月21日(金)	みんなと一緒に遊びを楽しもう。
11月10日(火)	スクールバスにのってでかけよう!
11月28日(土)	幼稚園の造形展を見学し、手作りで好きなものを作ろう!



● 2010年度 畿央大学入学試験概要

募集人員(人)

学部	学科	定員	AO入試	公募推薦入試	一般入試			センター試験利用入試			社会人入試
					前期	中期	後期	前期	中期	後期	
健康科	理学療法	60	4	22	19	5	2	5	2	1	若干名
	看護医療	80	4	34	26	6	2	5	2	1	若干名
	健康栄養	70	4	31	22	5	2	4	1	1	若干名
	人間環境デザイン	45	3	20	12	3	2	3	1	1	若干名
教育	現代教育	145	6	67	45	10	4	7	4	2	若干名

入学試験日程

※成績優秀による奨学金制度があります。お問い合わせください。

試験区分		試験日	出願期間(消印有効)	合格発表日
A O入試	1次選考	9月23日(水) ※I・II・IV型は書類選考	9月1日(火)～9月18日(金) III型のみ9月16日(水)締切	9月29日(火)
	2次選考	10月11日(日)	9月29日(火)～10月6日(火)	10月16日(金)
公募推薦入試	A・B日程	11月14日(土) 11月15日(日)	10月26日(月)～11月6日(金)	11月24日(火)
	C日程	11月22日(日)	10月26日(月)～11月13日(金)	11月28日(土)
	前期A日程	1月24日(日)	1月4日(月)～1月15日(金)	2月1日(月)
一般入試	前期B日程	1月25日(月)	1月4日(月)～1月22日(金)	2月6日(土)
	前期C日程	1月31日(日)	1月25日(月)～2月10日(水)	2月24日(水)
	中期日程	2月18日(木)	2月19日(金)～3月3日(水)	3月16日(火)
	後期日程	3月10日(水)	1月4日(月)～1月15日(金)	2月6日(土)
	前期日程	—	1月25日(月)～2月10日(水)	2月24日(水)
センター利用入試	中期日程	—	2月19日(金)～3月3日(水)	3月16日(火)
	後期日程	—	10月13日(火)～10月23日(金)	11月7日(土)
	社会人入試	11月1日(日)	9月14日(月)～10月2日(金)	10月17日(土)
3年次編入学	前期日程	10月11日(日)	1月25日(月)～2月5日(金)	2月20日(土)
	後期日程	2月14日(日)		

● 2010年度 畿央大学大学院入学試験概要

募集人員・修業年限

※成績優秀による奨学金制度があります。お問い合わせください。

課程	研究分野	1期	2期	就業年限
修士課程	リハビリテーション・運動行動学・健康栄養学・環境デザイン学	15名	5名	2年
博士後期課程	健康生命科学・健康支援科学	3名	2名	3年

※選抜区分ごとの定員は設けていません。

募集日程

試験区分	試験日	出願期間(消印有効)	合格発表
1期	9月23日(水)	9月1日(火)～9月16日(水)	9月29日(火)
2期	2月14日(日)	1月25日(月)～2月5日(金)	2月20日(土)

畿央大学

公募推薦入試の志願者数は、理学療法学科で7%の減少となった以外はすべての学科で増加し、全体では12%の増加となりました。年度の途中から深刻さを増した経済不況の影響で、医療系、栄養系、教員養成系などの資格志向が強くなったことが理由と考えられますが、理学療法学科は相次ぐ同系統の学部・学科の新設などが原因で倍率がダウンしました。一方合格者の入学手続き率は高く、畿央大学の人気がかえりました。

一般入試でも推薦入試同様の傾向は続きましたが、学科ごとに大きな差が出ました。現代教育学科は大幅増となりましたが、理学療法学科は推薦入試同様の傾向が続き、25%と減少幅はさらに大きくなりました。推薦入試では50%の増加となった健康栄養学科でも、一般入試では一転して5%の減少となりました。

畿央大学大学院

3年目となった修士課程の入試では、昨年を上回る30名の志願者がありました。特に社会人の出願が多く、働きながら学ぶことのできる畿央大学大学院のシステムに期待が高まっています。

一方新設された博士後期課程は定員を上回る6名の入学者を2009年4月にむかえて、スタートしました。今後テレビ会議システムの有効活用も検討されており、臨床の現場で課題解決型の研究に取り組む専門的職業人の養成が一層すすむものと期待されています。

2009オープンキャンパス開催中

6/14㊦・7/18㊦・7/19㊦・8/22㊦

8/23㊦・10/4㊦・10/24㊦・10/25㊦

9/20㊦・12/13㊦は入試対策講座!

資料だけではわからない、一番新しい畿央大学を体感していただくには、オープンキャンパスが一番です。2009年は3月から10月までほとんど毎月開催で、受験生のみなさんをお待ちしています。入試ガイダンス、学科ガイダンス、体験授業、個別相談etc…。オープンキャンパスは畿央大学のあれこれ、全部お見せします。

3期生の就職活動実績

—— 就職率 99・4%

平成20年度は、後半から米国に端を発する急激な景気悪化で、就職環境は昨年までの売り手市場から一変して厳しくなりました。幸い、本学では早くから就職活動を始めていた学生が多く3期生の就職率は99・4%となりました。また、マスコミで話題になっている企業からの内定取消事例はありませんでした。学生の頑張りはもちろんのこと、教職員一体となつての支援の結果だと思えます。

去年1年間の就職活動概要を学科専攻ごとに紹介します。

理学療法学科は、66名が卒業しました。7月までの病院実習を終え、夏休みから就職活動に入りました。理学療法士は飽和状態になっているという従来からの風評に反して、本学には近畿地区の病院を中心に前年同様503件の求人票を頂戴しました。9月に最初の内定者が出て3月までに全員の学生が病院施設に内定しました。初めて大学院進学者が出たのが昨年度の特徴です。リハビリテーション医療技術の向上と発展に寄与できる人材に育ってほしいと期待しています。残念ながら国家試験の合格率は98%でしたが、4月1日には理学療法士の資格を取得し、現在、本格的に病院で働き始めています。1期生、2期生合わせて全国186の病院施設に就職したことになります。畿央大学のネットワークがさらに広がりました。

健康栄養専攻では、3回生の秋から、食品メーカーなど一般企業の就職活動がスタートしました。4回生の春は委託給食会社、そして秋は病院・施設などの採用試験が順次行われました。2期生以上に内定の獲得時期が早まり、就職活動は順調に推移しました。しかし、納得できる業界職種をめぐって1年以上就職活動に時間を費やした学生もいました。学校の栄養教諭希望者が多かったのが昨年度の特徴です。就職先としては、委託給食、病院、施設、保育園、

食品メーカー、商社、小売、フード、ドラッグストアなどです。

人間環境デザイン専攻の3期生も健康栄養専攻同様、3回生の秋から就職活動がスタート。3～4月が企業説明会ラッシュで、5～6月が内定のピークでした。3回生の後半から積極的に活動した結果、例年以上に順調に内定を獲得しましたが、やはり景気悪化の影響で6月以降は苦戦しました。就職先としては建設、住宅、設計事務所、デベロッパー、不動産、インテリア、リフォームなどの業界に約6割。女子も含めて設計、施工管理などの技術職への就職が増えました。それ以外の業界はアパレルや金融、情報など多岐に渡りますが、「関西で働きたい」という地元志向の学生が多かったのも特徴です。4回生の冬から春にかけては卒業制作で学校に籠もる日々でしたが、「正社員で就職したい!」という強い思いを持った未内定者は終了後活動を再開、卒業までに全員決まりました。「諦めずに頑張れば必ず結果が出る」ということを実感した1年でした。

事業所規模別就職者数 (2009年3月卒業生)

学 科	巨大企業	大企業	中企業	小企業	病院施設	公務員	学校幼保
理学療法学科	0	0	0	0	64	0	0
健康栄養専攻	12	28	14	5	4	1	1
人間環境デザイン専攻	3	11	20	15	0	0	0
合 計	15	39	34	20	67	1	1

(注) 巨大企業…従業員3,000人以上
大企業…従業員2,999人～500人
中企業…従業員499人～100人
小企業…従業員99人以下

山田 めぐみさん

大阪府済生会中津病院 勤務

理学療法士の仕事をしていて嬉しいときは、患者様がとびきりの笑顔で退院されるときです。また実習のときに担当させていただいた患者様がご家族と会いに来てくださったときは、嬉しくて涙が出ました。逆に難しいと感じることは、なぜこの疾患にかかり、このようなりハビリをしなくてはいけないのかを伝えることです。「治る」という結果ばかり追い求めていて繰り返してしまつては、意味がないと思います。

退院する患者様が、自分のからだに対して興味をもち、気にかけてくれるようになれば…と思い日々仕事をしています。

2期生の活躍

卒業後に大学を訪ねてくれました。その時、後輩の皆さんにメッセージをいただきました。

石田 香織さん

積水ハウス(株) 大阪支店 本店 勤務

念願だったなんば勤務になり半年。やっと仕事の流れをつかめるようになりました。展示場ではなく支店勤務なので覚えることはまだまだありますが、新入社員で色々経験出来るのは嬉しいことだと思い、頑張っています。社内では飲み会もあって楽しいです。畿央大学は本当に帰ってきやすい場所です。アットホームな雰囲気大好きです。何でも話しやすい学校なので、たくさんの人と関わって充実した学生生活にしてください!

生命の声

学校法人 冬木学園 理事長 冬木 智子



それは一九四七年二月二日の早朝のことでありました。

寢室に産声が響いた瞬間、私は母となったのでした。家人の慌ただしく動いている気配。部屋につづく長い廊下の高い庇の窓には、まさに立春の早朝を思わせる白い光が、かすかに漂っていました。

その日より早や六十有余年経た今も、その光景は私の脳裡に焼き付いていて鮮やかによみがえってきます。生まれた瞬間の産声こそ、人の生命の崇高な心霊と云えるのではないのでしょうか。私達はすべてこの世に生れ出た時より、等しくこの感動を人に与えるために生かされていることを改めて考えるべきではないかと思えます。

さらに外界の自然に目を転じた時、亭々とそびえる老木の樹皮の逞ましさ、その下陰に生き続ける可憐な花々や青葉、嬉々として飛び交う小鳥の囁き。この自然界に、生けとし生けるもののかすかな息吹にも感動を覚えずにはおられないのであります。

「畏敬の念を忘れた時、人は墮落する」とは哲学者 谷川徹三の言葉にもあります。私達は生かされている自分であること、生命の尊さを、謙虚に感受してゆきたく思います。

現代は豊かなものに恵まれつつ、なお不平、不満を抱き、利欲にかられた卑しむべき不祥事がまん延しております。更に、尊い生命や絆さえ軽んじる行為が頻発する社会にあつて、私達は今こそ生命の尊厳を心深く自省すべき、重大な時が訪れているのではないのでしょうか。

今朝も耳を澄ますと、付属幼稚園では幼児達の可憐な声がまるで歌うように聞こえて迎えてくれますし、又場所を高校や大学へ移すと、青少年達の澄んだ力強い声が、青春の夢を抱いて明日に向かって生きてるよるこびを与えてくれます。

「青春とは人生の或る一定の『期間』を云うのではなく『心の様相』を云うのである」とある詩人は書いています。

私はこの純粋な生命の声を糧として、更なる新しい明日を迎えたく思っております。

八十路過ぎ 青春の日々 たまわれる

尊き日々を 我は生きゆく

●冬木学園へのご支援のお願い

学校法人冬木学園は、「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」という建学の精神のもとにたゆまぬ教育活動を行い、平成18年には学園創立60周年を迎えることができました。現在は幼稚園、高校、大学、大学院を有し、昨今の厳しい教育環境のなかでも本学園への社会的評価は年々高まっています。このように冬木学園が発展してこれましたのも、卒業生や保護者をはじめ学園を支えてくださるみなさまのおかげと厚く御礼申し上げます。

これからも学園の評価を更に高め、社会のニーズに応えるためには、教育・研究活動の充実や学生・生徒への奨学金制度の充実など、より多くの資金が必要になってまいります。つきましては、本学園の建学の精神に賛同しご協力頂ける皆様方に寄付金を募集させて頂きたくご案内申し上げます。

◎寄付のお申込方法

法人事務局総務部(担当:植村・横山)にお問い合わせ下さい。

0745-54-1603 soumu@kio.ac.jp

◎寄付金の控除

冬木学園は特定公益増進法人に指定されていますので、個人の皆様からのご寄付については、寄付金から5千円を差し引いた金額が所得額から控除できます(所得の40%以内)。

紫陽花の蕾が膨らみだした梅雨入りの季節にカトレア通信をお届けすることになりました。例年のように5月にお届けできなかったこと、申し訳ありません。その分、内容を豊かにできたのではと思っています。畿央大学大学院博士後期課程の開設をはじめとして、厳しい時代の中にあっても、冬木学園は年々新しい到達を築いています。今回は、その建学の精神にスポットを当ててみました。学園の歴史に脈々と引き継がれているものと、その発展、そしてそれに連なる人々を感じていただければ幸いです。(K)

編集後記

学園トピックス

蘭友会総会を開催

*蘭友会は桜井女子高等学校・関西中央高等学校の同窓会です。



度会計報告・21年
会総会で平成20年
第一部は、蘭友

贈りました。
に赤いタオルをお
れた方には、記念
た。還暦を迎えら
総勢80名の総会となりまし

4月19日(日)に第43回蘭友会総会を関西中央高校メモリアルホールにて行いました。昨年からは卒業生の方が増えて参りました。今年第2回卒業生の方々が還暦を迎えられるというところで、お知らせしたところ24名の方が参加してくださいました。理事長先生はじめ、当時の先生方6名、職員12名の方、そして、若い会員もたくさん参加いただき、

いと考えています。
来年も皆様の多数のご参加お待ちしております。

これからの毎年還暦の卒業生の方、一方、新たな卒業生の方と年齢差のひろい同窓会になっていく中で、よりよく参加していただける蘭友会総会にしていただきたいと考えています。

度予算案の審議も無事終わりその後は、アトラクションで「マジックショー」を楽しみました。昨年は、落語家(桂まめだ氏)と腹話術(千田やすし氏)に来ていただくなど、楽しいアトラクションは、毎年恒例となっています。第二部は、カトレアホールにて懇親会を行います。懇親会では、ビンゴゲームを行い大いに盛り上がりつつ楽しい時間を過ごしました。

